

■ 平成22年度 交通局所管決算の概要

1. 高速鉄道事業会計決算

収益的収支	金額
収入	28,474 百万円
支出	28,702 百万円
差引	△ 228 百万円
欠損金(消費税要素除く)	△ 227 百万円

平成21年度末累積欠損金 △ 140,334 百万円
 平成22年度末欠損金 △ 227 百万円
 平成22年度末累積欠損金 △ 140,561 百万円

資本的収支	金額
収入	39,171 百万円
支出	51,238 百万円
差引	△ 12,067 百万円

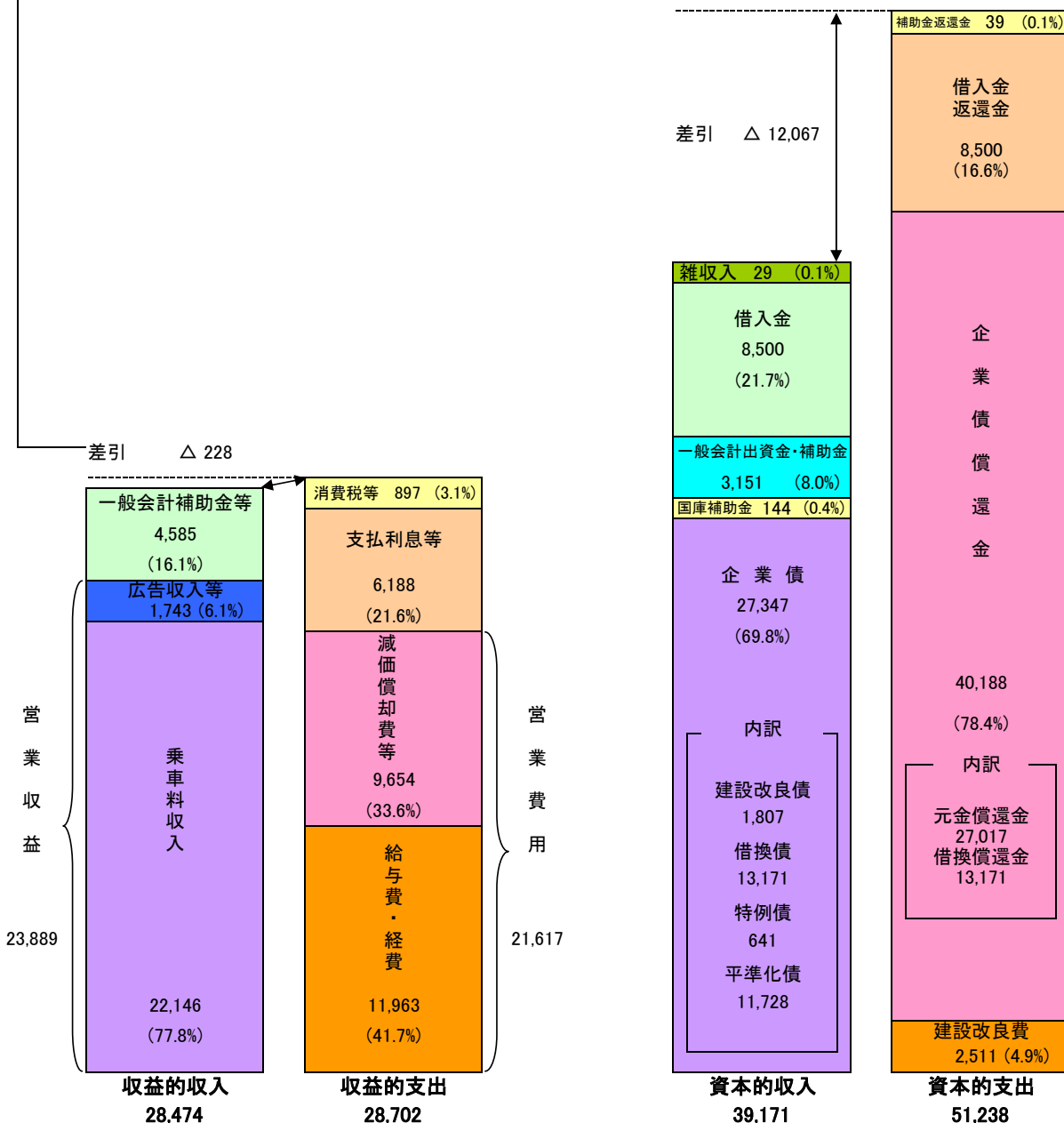
減価償却費等の非現金支出	9,662 百万円
+ 23年度への繰越工事資金	△ 2 百万円
+ 収益的収支の赤字額	△ 228 百万円
損益勘定留保資金	9,432 百万円
+ 資本費負担緩和債	2,741 百万円
合計	12,173 百万円

補填

平成22年度末累積資金不足額 △ 29,623 百万円

収益的収支 (単位:百万円)

資本的収支 (単位:百万円)



2. 業務量(年間または年度末)

(1) 営業路線及び営業キロ

空港線(1号線) 姪 浜 ~ 福岡空港	13.1 キロメートル
箱崎線(2号線) 中洲川端 ~ 貝 塚	4.7 キロメートル
七隈線(3号線) 橋 本 ~ 天 神 南	12.0 キロメートル
計	29.8 キロメートル

(2) 車 両 数 212両 (41編成)

(3) 年間走行キロメートル 18,528,851.8 キロメートル

(4) 年間輸送人員 127,136,349人

(5) 一日平均輸送人員 348,319人

○内訳	決算
空港・箱崎線(a)〔乗継ぎ分含む〕	299,886 人
七隈線(b)〔乗継ぎ分含む〕	62,917 人
乗継ぎ分(c)	14,484 人
全線計(a)+(b)-(c)	348,319 人

3. 主要な建設改良事業

事業費 2,510,453 千円

区 分	事 業 概 要	
(1) 営業線改良事業 2,491,594千円		
主 な 内 容	自動制御設備改良工事 386,273千円	経年劣化した駅施設の性能を向上させるため、自動制御設備の改良を年次計画により実施した。(室見駅、西新駅、唐人町駅、姪浜合同事務所、中央制御所)
	博多駅コンコース等改良工事 352,318千円	九州新幹線全線開通や博多駅再整備にあわせ、交通結節機能や回遊性の向上を図るため、博多駅コンコース、出入口等の改良を実施した。
	変電所受配電設備改良工事 274,258千円	経年劣化した変電所施設の性能を向上させるため、受配電設備の改良を年次計画により実施した。(姪浜変電所)
	ATC(自動列車制御装置)改良工事 133,813千円	経年劣化した保安設備の性能を向上させるため、ATC(自動列車制御装置)の改良を年次計画により実施した。(中洲川端駅)
	駅トイレ改良工事 34,854千円	サービスの向上やバリアフリー化の推進を図るため、経年劣化した駅トイレの改良を年次計画により実施した。(唐人町駅)
	駅ナンバリング(駅番号制)整備 23,633千円	外国からのお客様や初めて本市地下鉄をご利用されるお客様が、目的駅や乗換駅などを容易に確認でき、より安心してご乗車いただけるように駅ナンバリングの整備を実施した。(全駅、全車両)
	九大病院前地下通路整備工事 11,604千円	バリアフリー化や安全・安心のまちづくりを推進するため、平成25年春供用開始に向け、馬出九大病院前駅から九州大学病院東門までの公共地下通路の整備に着手した。
(2) 3号線計画継続調査 18,859千円	七隈線の延伸計画について、交通対策特別委員会の検討経過等を踏まえ、地質調査など技術的な調査を実施した。	